



**畠山 隆則 — Hatakeyama Takanori**

◆生年月日 1975年7月28日  
 ◆出身地 青森県  
 ◆血液型 A型  
 ◆趣味 車・ゴルフ

辰吉丈一郎がWBC世界王座を獲得した試合を観てプロボクサーを志し、高校中退後に上京。1993年にプロデビュー。元WBA世界スーパーフェザー級・ライト級チャンピオンとして、日本人4人目の世界2階級制覇者を果たす。引退後はタレント活動やボクシング・K-1の解説として活躍。また、元WBA世界ミドル級王者竹原慎二と共にボクサ・フィットネス・ジムを開設する実業家でもある。

**【プロフィール】**

幼い頃から巨人ファンで小学4年で野球を始める。抜群の運動神経で4番でエース・キャッテンとして活躍。中学時代は野球部のエースとして活躍しながら無敵の喧嘩番長としても知られた。特待生で青森山田高校に進学、野球部に入り甲子園やプロ野球選手を目指していたが、先輩とそりあわざわしき月で退部。その時期に辰吉丈一郎氏が世界王座を獲得した試合をテレビ観戦し、刺激をうけ、高校2年で中退して上京、「ヨネクラジム」に入門してボクシングを始める。1993年にプロデビュー、翌年に全日本新人王を獲得。1996年には東洋太平洋王座を獲得(3度防衛)。1997年、デビュー20連勝でWBA世界ジュニア・ライト級(現スーパーフェザー級)王者・崔龍洙(韓国)に挑んだが、引き分けに終わる王座獲得はならなかった。1998年、日本王座を獲得すると、同年には再戦で崔龍洙に判定で勝利し悲願の世界王座を獲得。その後、一度は現役を離れ、ジムのレーナーをしながらタレント活動も始めたが、翌年再び練習を再開。新たに米国人のルディ・エルナンデスをレーナーに迎えて現役に復帰し、約1年ぶりの復帰戦で1階級上のWBA世界ライト級王座に挑戦。王者・ヒルベルト・セラノ(ペニズエラ)にKO勝ちして日本人4人目の2階級制覇を達成。2001年の3度目の防衛戦で判定負けを喫し、現役を引退。

現役中であった1998年から青森山田高校通信課程に入学。卒業後は青森大学に進学し、経営学を専攻。2002年に竹原慎二とともに「竹原慎二＆畠山隆則のボクサ・フィットネス・ジム」をオープン。現在はタレント、ボクシングやK-1の解説者、役者としても活動の幅を広げている。

